

データリテラシー実習（春学期、秋学期 1単位）

各クラス共通

Data Literacy (Lab.)

■授業概要

「データリテラシー」という言葉に身構えている人はいませんか。

「表計算ソフト」などを用いて、データを操作することは、いまや社会人にとっての最低限の常識となっています。

本講義は社会人だけでなく、ゼミ活動においても活用度の高いデータを扱う技術を習得することを目的としています。

具体的には、「表計算ソフト」や「統計パッケージソフト」と呼ばれる種類のソフトウェアを用いて、初歩的なデータの取り扱い方を学んでいきます。Enjoy Computing と基本ソフトウェア実習の知識があれば、十分に対応できます。

■到達目標

データを扱う技術を習得する。

■授業計画

- 1 データ探索とデータ入力
- 2 グラフの作成 1
- 3 グラフの作成 2
- 4 度数分布表とグラフ作成
- 5 データ分析の基礎的手法(記述統計学の基礎)
- 6 データ分析の基礎的手法(記述統計学の応用)
- 7 使い方の工夫（マクロ機能など）
- 8 統計パッケージ入門
- 9 散布図と相関関係
- 10 回帰分析
- 11 分析結果のレポート作成
- 12 クロス表 1
- 13 クロス表 2
- 14 分析結果のレポート作成
- 15 総合課題

■授業時間外学習

データ分析は、実際に自分で計算し、その結果を吟味することが重要であるため、実習後に教科書などを用いて復習を行うことが望ましい。

■成績評価の方法

定期試験を行わず、平常試験（小テスト・レポート等）で総合評価する。

レポート等の平常試験（100％）

■成績評価の基準

各回の実習への参加状況、課題提出状況、提出課題の内容を総合的に評価する。なお、3回を超えて、欠席した場合には、原則成績評価の対象とならない（単位を認定しない）。

■教科書

『Excel ではじめる社会調査データ分析』（丸善出版）
松原望、松本渉 2011

■参考書

■備考